科目ナンバリング	U-LAS03 10007 SB48						
授業科目名 <英訳>	外国文献講読（法・英）II-E1 Readings in Humanities and Social Sciences (Law, English)II-E1			担当者所属 職名・氏名	法学研究科　特定准教授 上出　寛子		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	外国文献研究		使用言語	日本語	
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・後期	曜時限	火1	配当学年	2回生以上	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

法と心理学に関連する英語の文献を講読し、毎回、担当者が担当箇所を和訳し発表する。文献を和訳するだけでなく、議論の内容について他の受講者と意見交換を行いながら、文献の内容を正確に読み解く力を身に付ける。

[到達目標]

・英語の文献の内容を的確に理解するための基本的な能力を身につける。
・法と心理学に関する基礎的な知見について理解を深める。

[授業計画と内容]

この授業では、法と心理学に関連する英語の文献を取り上げ、毎回、指定された箇所を読み進める。内容について、他の受講者を交えた議論を行う。
用いる文献は1回目の講義の際に連絡する。文献についてはコピーを配布するため、受講生の側で準備をする必要はない。

第1回　文献の紹介と授業の進行計画の説明、担当者の割り当てを行う。
第2回～第14回　文献読解と検討
　各回の担当者は、事前に和訳した文書をワードファイルで作成し、あらかじめ授業資料として配布する。当日に担当者が和訳した内容を発表し、他の受講者との間で、和訳についての確認と内容に関する議論を行う。
第15回　フィードバック

[履修要件]

外国文献講読（法・英）は専門への導入コースなので2回生以上を対象とする。

[成績評価の方法・観点]

期末レポート：70%（詳細は授業中に説明する。）
平常点：30%（担当回での和訳資料の提出の有無と内容、教室での議論や意見交換の状況を考慮する。）
4回以上授業を欠席した場合には、不合格とする。

[教科書]

授業中に指示する

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

自分が担当する回ではなくても、購読予定の箇所と提出された訳文の資料を事前に確認し、当日の議論や意見交換のアイデアを考えておくようにしましょう。また、教室で行った議論に基づき、法

外国文献講読（法・英）II-E1(2)へ続く↓↓↓

外国文献講読（法・英）II-E1(2)

と心理学の考え方や研究内容について復習するようにしてください。

[その他（オフィスアワー等）]

電子メールとする。この科目は法学部生を対象に開講される科目です。履修人数に余裕があれば、法学部以外の学生も履修することが可能ですが、法学部事務室で事前申込が必要です。詳細は履修（人数）制限に関するお知らせで確認してください。

[主要授業科目（学部・学科名）]